

# 日 本 史

## 注 意

1. 問題は全部で11ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その2)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

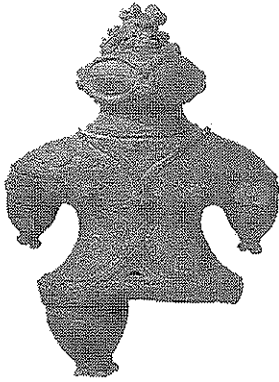
解答記入例(解答がイのとき)

1	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
---	--

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

**I**

次の図A～Eに関する文章を読んで、後の問に答えなさい。



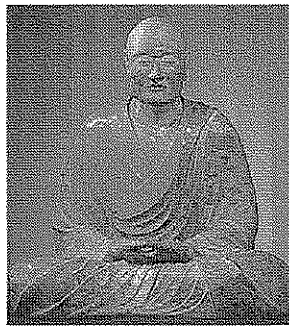
A



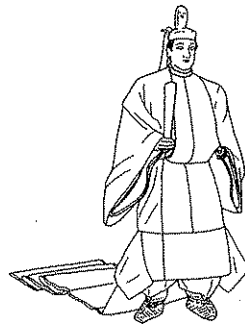
B



C



D



E

図Aは縄文時代の土偶である。土偶は縄文時代の主に中期から晩期にかけて作られ、その出土地は東日本を中心に分布している。土偶には女性像が多く、生殖・豊穡を祈る呪術道具であったと考えられている。狩猟・採集・漁撈などを組み合わせて生業としていたこの時代は、自然環境の変化に大きく影響された。したがって、土偶のような呪術道具が必要とされたものと考えられている。ただ、縄文時代の遺跡からクリ・クルミ・トチなどの木の実や豆類・エゴマ・ヒョウタンなどの種子が検出され、また、特に関東地方や  の遺跡から土掘り用の  や木の実をすりつぶすための石皿、すり石などが多数出土していることから、縄文時代に既にクリ・クルミなどの木の実を管理・増殖し、豆類など雑穀を栽培していたと考えられるようになっている。

図Bは古墳の墳丘の上に立て並べられた埴輪のうちのひとつである人物埴輪である。この埴輪は鉄や革の小片を革ひもや糸で綴じて屈伸性をつけ、乗馬にも適した **ウ** を着けている。このように武装した男子の埴輪はとくに武人埴輪と呼ばれる。古墳時代の男子は頭髪を中央から左右に分け、耳のあたりで輪のようにして緒で結ぶ **エ** という髪形をしている。女性の埴輪には巫女の姿を表したとされるものがある。特殊な服を着てタスキを掛け、腰に鏡、手首と足首に玉飾りを着けていることなどから巫女の形を模したものであると考えられている。

図Cは高松塚古墳の壁画の一部である。横穴式石室の一種である横口式石槨の内壁面に漆喰を塗り、天井及び側壁面に星宿、日月、四神、人物群像が描かれていた。この古墳に納められた棺は漆塗木棺で、副葬品は葡萄 **あ** 文の上に禽獣文を重ねた文様をもつ海獣葡萄鏡、銀装大刀外装具、金銅飾金具、金銅透金具などが主なものであった。古墳時代の終末期には板石を組み合わせたり、巨岩をくり抜いて作った単葬または合葬用のやや小型の墓室が出現するが、高松塚古墳の墓室はその特徴を有しており、出土遺物と共にその年代を考える根拠となっている。

図Dは **い** 所蔵の鑑真像である。鑑真は渡航にたびたび失敗しながら、日本に戒律を伝え、我が国の仏教の発展に寄与した。 **い** の金堂は天平建築の遺構であり、また **う** は平城宮の朝集殿を移したものである。奈良仏教には南都六宗という6つの学系があり、鑑真の渡来によって、六宗の一つである **え** が盛んになったといわれる。

図Eは平安貴族の男性の正装姿である。9世紀後半から10世紀にかけて日本と大陸との関係は大きく変化した<sup>(e)</sup>が、それに伴い貴族社会を中心に、優雅で洗練された文化が生まれた。このような文化を国風文化と呼んでいる。国風化の傾向は貴族の服装の上にもあらわれた。男性の正装は **オ** やそれを簡略にした **カ** であるが、それまでの唐風の服装を日本人向きにつくり変えた優美なものとなった。また、美術工芸の面でも一層の国風化が進み、中でも書道においては、三跡(蹟)と言われる小野道風、藤原行成、 **キ** という名手があらわれ、三筆と言われた **ク**、嵯峨天皇、空海の唐風の書に対し、優美な線で表現した和様の書が発達した。

問 1 文中の  ～  に入る語を漢字で答えなさい。(解答用紙その1を用いること。)

(問 2～問 10 については、解答用紙その2を用いること。)

問 2 文中の  と  に入る語の組み合わせとして正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① ア 九州北部, イ 打製石斧      ② ア 九州北部, イ 木製鍬  
③ ア 中部高地, イ 木製鍬      ④ ア 中部高地, イ 打製石斧

問 3 文中の  と  に入る語の組み合わせとして正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① ウ 挂甲, エ 鬘      ② ウ 挂甲, エ 美豆良  
③ ウ 短甲, エ 鬘      ④ ウ 短甲, エ 美豆良

問 4 文中の  と  に入る語の組み合わせとして正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① オ 東帯, カ 衣冠      ② オ 東帯, カ 水干  
③ オ 衣冠, カ 袷      ④ オ 袷, カ 東帯

問 5 文中の  と  に入る語の組み合わせとして正しいものを選び、その番号をマークしなさい。

- ① キ 藤原佐理, ク 藤原定家      ② キ 藤原俊成, ク 藤原定家  
③ キ 橘逸勢, ク 藤原俊成      ④ キ 藤原佐理, ク 橘逸勢

問 6 下線部(a)について図Aの土偶は一般に何と呼ばれているか。下の語群から選び、その番号をマークしなさい。

- ① 山形土偶      ② ハート形土偶      ③ ミミズク土偶      ④ 遮光器土偶



Ⅱ 次のA・Bの文章を読んで、後の問に答えなさい。

【A】 13世紀後半の蒙古襲来は、中小御家人の窮乏・没落に拍車をかけること  
② になった。一方、13世紀末頃から、畿内周辺では地頭や非御家人の武士たちが武力に訴えて年貢の納入を拒否するなど、荘園領主に抵抗し、勢力を拡大する者も登場してくる。彼らは幕府や荘園領主から [ア] と呼ばれ、『峰相記』には「異類異形ナルアリサマ」であったと記されている。彼らは丸太を落とし、つぶてを投げるなどして幕府の鎮圧軍をも苦しめたが、1331年、後醍醐天皇再度の倒幕計画である [イ] の変で挙兵した楠木正成も、  
③ [ア] と呼ばれる存在だったと言われている。

建武の新政崩壊後60年に及ぶ内乱の時期を迎えるが、その社会と文化を象徴する言葉が [A] である。1336年に成立した室町幕府の施政方針を示す [B] には、「近日 [A] と号し、専ら過差を好む。綾羅錦繡・精好銀剣・風流服飾、眼を驚かさざるはなし」と記され制約の対象とされているが、  
④ こうした気質は新しい流行を育む原動力でもあった。

問1 [ア] [イ] に入る語句を漢字で記しなさい。(解答用紙その1を用いること。)

問2 [A] に入る語句として正しいものを選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 幽玄                      ② 風流                      ③ 婆佐羅                      ④ 歌舞伎

問3 [B] に入る語句として正しいものを選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 『建武式目』                      ② 『建武以来追加』  
③ 『梅松論』                      ④ 『御成敗式目』

問 4 下線部㉔に関連して、もっとも適切な文を選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 元軍との戦いにより、日本に「種子島」と呼ばれる鉄砲が伝来した。
- ② 文永の役後、幕府は博多湾沿いに石塁を構築した。
- ③ 弘安の役後、幕府は九州北部の要地を御家人に警護させる異国警固番役を始めた。
- ④ 弘安の役直前に、幕府は大宰府に北条氏一門を鎮西探題として送り、九州地方の御家人の指揮にあたらせた。

問 5 下線部㉕に関連して、後醍醐天皇が行った建武の新政の中身として誤っているものを選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 院政や摂政・関白を否定して、天皇の権限強化に努めた。
- ② 諸国には守護と国司を併置した。
- ③ 九州探題・奥州探題に皇子を派遣し支配を強めた。
- ④ すべての土地所有の確認に天皇の綸旨が必要とするという趣旨の法令を打ち出した。

問 6 下線部㉖に関連して、南北朝期の文化動向を示すものとしてもっとも適切な文を選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 茶の異同を飲みわけて、かけ物を争う闘茶が流行した。
- ② 池坊専好が出て、立花を大成した。
- ③ 俳諧連歌が流行し、山崎宗鑑により『犬筑波集』が編纂された。
- ④ 大和猿楽から出た世阿弥が、役者・脚本家として活躍し、芸論書『風姿花伝』を著した。

【B】 18世紀に入り徳川吉宗が将軍になると、家康時代への復古を掲げて幕政の改革に取り組んだ。改革の中心は財政再建にあったが、旗本出身のウ<sup>①</sup>を江戸町奉行に抜擢して都市政策にも力を入れ、法に基づく合理的な政治を推進した。

しかし、18世紀後半には大規模な飢饉や打ちこわしの頻発などにより社会不安が高まり、11代将軍エ<sup>②</sup>の補佐役として、松平定信が老中に就任し、再び幕政の改革を行った。

さらに、19世紀になるときびしい飢饉が続き、百姓一揆や打ちこわしが続発、1837年には貧民救済のために元幕府役人が決起を促し蜂起するなど、幕藩体制の動揺は覆うべくもなかった。大御所として実権を握り続けていたエ<sup>③</sup>の死後、老中水野忠邦は幕府権力の強化を図って改革を行ったが失敗に終わった。一方、諸藩でも藩政改革が進められ、改革に成功した藩は、幕末の政局に強い発言力を持つようになっていく。

問7 ウ<sup>①</sup> エ<sup>②</sup>に入る人名を漢字で書きなさい。(解答用紙その1を用いること。)

問8 下線部①にある財政再建策として適切なものを選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 金銀貸借に関する争いについて、訴訟により幕府が直接解決するようにした。
- ② 町々に町費節約を命じ、節約分の7割を積み立てさせ、江戸町会所に運用させた。
- ③ 歌舞伎の江戸三座を浅草に移転させるなど、厳しい儉約令を出した。
- ④ 大名から石高1万石につき100石を献上させ、その代わりに参勤交代の在府期間を半減した。



問 9 下線部㉔の際に弾圧・処罰を受けなかった人物を選んでマークしなさい。

(解答用紙その2を用いること。)

- ① 林子平            ② 恋川春町            ③ 為永春水            ④ 山東京伝

問10 下線部㉕の乱に共鳴して越後柏崎で陣屋を襲撃した人物を選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 大塩平八郎      ② 佐倉惣五郎      ③ 熊沢蕃山            ④ 生田万

問11 下線部㉖の藩政改革として誤っているものを選んでマークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 水戸藩では、藩主徳川斉昭がイギリス人技師の指導で紡績工場を作り、藩の権力を強化した。
- ② 薩摩藩では、家老調所広郷が奄美三島特産の黒砂糖の専売を強化し、琉球王国との貿易を増やすなどして財政を立て直した。
- ③ 長州藩では、藩士村田清風が下関などに越荷方を設け、その委託販売などで莫大な利益を得、財政再建に成功した。
- ④ 土佐藩では、吉田東洋ら改革派の藩士たちを起用し、藩財政の強化と軍事力増強につとめた。



問 5 史料中の下線部 d に関連して、憲法調査の中心となった人物が、その調査のためヨーロッパに派遣された時に学んだ人物を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その 2 を用いること。)

- ① ボアソナード ② ロエスレル ③ シュタイン ④ フルベッキ

問 6 史料中の下線「朕親ラ衷ヲ裁シ」とは、憲法制定の方法を示すが、こうした憲法を何というか記しなさい(4 字)。(解答用紙その 1 を用いること。)

問 7 史料中の下線部 f に関連して、農民などが困民党を組織し武装蜂起した事件を、政府は警察隊や軍隊を派遣して鎮圧したが、その事件の名称を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その 2 を用いること。)

- ① 高田事件 ② 秩父事件 ③ 加波山事件 ④ 福島事件

問 8 この史料の勅諭が出されたきっかけになった出来事は何か、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その 2 を用いること。)

- ① 開拓使官有物払下げ事件 ② 激化事件  
③ 民撰議院設立建白書の提出 ④ 征韓論政変

問 9 この勅諭が出された直前に参議を罷免された人物の氏名を記しなさい。(解答用紙その 1 を用いること。)

問 10 この勅諭の前後、民間でも様々な憲法案が作成されたが、その説明として誤っている文章を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その 2 を用いること。)

- ① 慶應義塾出身者などを会員とする交詢社は、「私擬憲法案」をつくり議院内閣制などを規定した。  
② 主権在君説に立脚する「国憲意見」も作成された。  
③ 共存同衆が作成した「私擬憲法意見」は、フランス的な一院制を主張している。  
④ 千葉卓三郎が起草した「五日市憲法草案」は国民の権利保障に特徴がある。

問11 民間の憲法案の内、「東洋大日本国国憲按」は、自由民権派左派の民主的な憲法案として知られているが、そこに規定されている内容として誤っているものを、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 抵抗権            ② 革命権            ③ 共和制            ④ 一院制議会

問12 「東洋大日本国国憲按」の起草者とされる人物の氏名を記しなさい。(解答用紙その1を用いること。)

問13 この頃、民権思想の分野では、盛んに論争が起こったが、社会進化論の立場で民権派の主張を批判した加藤弘之の著書を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 『天賦人權弁』   ② 『民約訳解』   ③ 『人權新説』   ④ 『自由之理』

問14 この勅諭の後、結成された立憲改進黨の説明として正しいものを次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 国会期成同盟を中核にして結成された。  
② 中江兆民は、立憲改進黨の理論的指導者であった。  
③ 二院制、イギリス流の穏健な立憲政治を主張した。  
④ 議会開設後、第二次伊藤博文内閣と提携した。

問15 勅諭の翌年に民間の政党に対抗して政府側が結成させた政党を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 立憲政友会      ② 国民協会      ③ 帝国党      ④ 立憲帝政党

問16 勅諭の翌年、政府側が結成させた政党の中心人物が社長をつとめていた新聞社を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。(解答用紙その2を用いること。)

- ① 東京日日新聞社                            ② 東京朝日新聞社  
③ 日本新聞社                                ④ 郵便報知新聞社







